田辺市議会だより

令和４年
（２０２２年）
8 月号

発行／田辺市議会　編集／広報委員会

第3回（６月）臨時会
新型コロナ関連補正予算１件を可決

第4回（６月）定例会
令和4年度田辺市一般会計補正予算などを可決

【目次】

主な議案の内容 …… Ｐ２
議決結果 …… Ｐ３
採決賛否一覧 …… Ｐ４
一般質問ほか …… Ｐ４～６
請願 …… Ｐ７
第５回（９月）定例会予定ほか … Ｐ８

表紙の写真

平成23年９月に発生した台風第12号の記録的豪雨による大規模な土砂災害のため、休園していました熊野（いや）地区にある百間山渓谷キャンプ村が、地元住民でつくる「熊野ふるさと会」によって、11年ぶりに７月１日から再オープンしました。

第3回（6月）臨時会

令和4年第3回（6月）臨時会を6月8日に開催し、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補正予算1件を原案のとおり可決しました。

また、市長専決処分事項など5件の報告を受けました。

第4回（6月）定例会

第4回（6月）定例会は、6月15日から7月6日までの22日間の会期で開催し、令和4年度田辺市一般会計補正予算（第3号）など、市長提出議案23件を全て原案のとおり可決（人事案件については、異議なし）したほか、公共交通機関等の充実を求める請願については、不採択としました。

本定例会では、6月24日、27日の2日間にわたり、9人の議員が一般質問を行いました。

主な議案の内容

▽第3回（6月）臨時会

補正予算

●議案第1号

一般会計補正予算（第2号）

1億3518万円

・子育て世帯生活支援特別給付金

1億3518万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

▽第4回（6月）定例会

補正予算

●議案第15号

一般会計補正予算（第3号）

1億7006万7000円

・デジタルツインの構築による地域の「魅力」・「価値」・「利益」の向上事業

2437万6000円

国のデジタル田園都市国家構想推進交付金の採択を受け、デジタルツインの構築による地域の「魅力」・「価値」・「利益」の向上事業を実施する。

・市民の利便性向上のためのビデオ会議システム導入事業

2597万2000円

国のデジタル田園都市国家構想推進交付金の採択を受け、市民の利便性向上のためのビデオ会議システムを導入する。

・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業費補助金

2898万5000円

国庫補助金の採択を受け、龍の里づくり委員会が実施する集落の維持・活性化を図るための取組に対して補助を行う。

・旧国鉄田辺駅宿舎跡地活用事業

6993万1000円

中心市街地の活性化と旧国鉄田辺駅宿舎跡地の活用を図るため、田辺市公共用地先行取得事業特別会計から事業用地を取得し、宿泊施設の整備・運営を行う民間事業者に対して、事業用地としての貸付を行う。

●議案第23号

一般会計補正予算（第5号）

5億8650万円

・市民生活応援商品券事業

4億2800万円

コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている市民の生活を応援するため、全市民を対象に市内の商店等で利用できる商品券を配布する。

条例

●議案第1号

田辺市半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例及び田辺市過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

租税特別措置法施行令の一部改正により、それぞれの条例において引用している同令の条項が移動したことに伴い、所要の規定の整備を行う。

●議案第2号

田辺市駐車場条例の一部改正について

紀伊田辺駅前駐車場及び紀伊田辺駅前第二駐車場の管理について、令和5年4月から指定管理者制度を導入するため、所要の改正を行う。

議決結果

第３回（６月）臨時会

件　　名		議決結果
３臨議案第１号	令和４年度田辺市一般会計補正予算（第２号）	原案可決 （全会一致）

第４回（６月）定例会

件　　名		議決結果
４定議案第１号	田辺市半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例及び田辺市過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
４定議案第２号	田辺市駐車場条例の一部改正について	
４定議案第３号	田辺市自転車等駐車場条例の一部改正について	
４定議案第４号	田辺市特別会計条例の一部改正について	
４定議案第５号	工事請負契約の締結について（近露福定線（逢坂隧道）道路改良工事）	
４定議案第６号	工事請負契約の締結について（本宮小学校建築工事）	
４定議案第７号	工事請負変更契約の締結について（林道桧葉曲川線開設工事）	
４定議案 第８号～ 11 号 （４件）	物品購入契約の締結について （自走式破砕機・木質バイオマスボイラー・高規格救急自動車・小型動力ポンプ付き水槽車）	
４定議案第 12 号	訴えの提起について	
４定議案第 13 号	和解について	原案可決 （賛成多数）
４定議案第 14 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決 （全会一致）
４定議案第 15 号	令和４年度田辺市一般会計補正予算（第３号）	原案可決 （賛成多数）
４定議案第 16 号	令和４年度田辺市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決 （全会一致）
４定議案第 17 号	令和４年度田辺市水道事業会計補正予算（第１号）	
４定議案 第 18 号～ 19 号 （２件）	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 水田美喜男氏（再）・太田秀範氏（再）	異議なし （全会一致）
４定議案第 20 号	訴えの提起について	原案可決 （全会一致）
４定議案第 21 号	令和４年度田辺市一般会計補正予算（第４号）	
４定議案第 22 号	令和４年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第１号）	
４定議案第 23 号	令和４年度田辺市一般会計補正予算（第５号）	
４定請願第１号	公共交通機関等の充実を求める請願	不採択 （賛成少数）

※議案番号の前の「３臨」は６月臨時会、「４定」は６月定例会を表しています。
※議案第〇号は市長提出議案です。

賛否が分かれた議案	議案の可否	紀新会					公明党			大志会			栄新会		くまのクラブ		清新会		日本共産党	
		安達 克典	市橋 宗行	宮井 章	尾花 功	塚 寿雄	小川 浩樹	加藤 喜則	佐井 昭子	浅山 誠一	尾﨑 博文	松上 京子	柳瀬 理孝	北田 健治	安達 幸治	谷 貞見	橘 智史	福榮 浩義	久保 浩二	前田 かよ
4定議案第13号 和解について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	×
4定議案第15号 令和4年度田辺市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	×
4定請願第1号 公共交通機関等の充実を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	／	○	×	×	×	○	○

【○…賛成　×…反対】 ※議長（北田健治）は議決に加わらないため斜線としています。

一般質問

地域自治について　小川浩樹議員

議 町内会を中心とする地域自治が、人口減少や担い手不足に加え、コロナ禍の影響もあり、将来、成り立たなくなるのではないかと心配しているが、市の考えは。

市 市民の意見を聞きながら、田辺らしい住民自治の仕組みの構築に向けた検討を進めるとともに、地域づくりの担い手となる人材の発掘や育成に努め、地域の活性化につなげたい。

議 子どもクラブへの加入が減少しているが、その現状と取組は。

市 現在の加入率は52.3%である。子どもクラブは、子供の健全育成、保護者の連帯のために有意義なものであり、その加入を促し、支援していく。

教育現場における熱中症対策について　加藤喜則議員

議 新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用の習慣が定着しているが、今後、活動制限が緩和され、夏を迎える子供たちを熱中症から守るために、マスクの着用についてどのように指導していくのか。

市 マスクの着用は基本的な感染症対策であり、現在も教室内の授業では着用を推奨しているが、夏季を迎えるに当たり、児童生徒にマスク着用時の熱中症のリスクについて十分に指導を行うとともに、校内外でのマスクを着用する場面と必要ではない場面のメリハリをつけられるよう指導してまいりたい。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

学校給食における物価高騰の対策について　前田かよ議員

議 円安による物価高騰で家計は大変な状況だ。コロナ禍の事業者支援金は非正規で働く人にまで届いておらず、女性のパート勤務が多い子育て家庭への負担軽減として、臨時交付金の活用も含めた**学校給食無償化**を求める。県内では３市８町村で実施しているが、市の考えは。

市 臨時交付金を活用し、物価高騰に伴う食材費増加分を保護者負担とせず、食材の質・量を維持し、栄養価のある給食を提供できるよう準備を進めている。

議 子育ての苦労は成長とともに喜びに変わるものであって、お金の苦労をかけさせない子育て支援をしていただきたい。

土地開発公社について　尾﨑博文議員

議 令和３年 12 月 24 日に総務省から公表された「令和２年度土地開発公社事業実績調査結果概要」によると、全国の土地開発公社が大幅に減少し、全国的に解散の動きが進んでいる。本市の現状と今後の在り方をどのように考えているか。

市 基盤整備も一定整いつつある現状に鑑み、公社の業務は現有資産の処分を中心に行っている。公社は一定の役割を終えたと認識しており、今後も現有資産の処分を進めるとともに、顧問会、理事会にも諮りながら、できる限り早い時期に解散できるように準備を進めていきたい。

新しい発想での公共交通体系の構築について　久保浩二議員

議 路線バス等を公共交通の中核に位置づけていることを見直し、乗合タクシー等住民の要望に沿う計画にするべきではないか。

市 先進地事例も含めて参考に、地域公共交通の改善に取り組んでいる。

議 山形県川西町では移動困難者の課題を移動の自由度の低下、閉じこもりの拡大、心の健康の悪化などと分析し、ドア・ツー・ドア、低料金での利用を実現した。住民バス等は乗合タクシーに置き換えることができ、補助金の見直しで市の支出を増やさず住民の要求に応えられるが、市の考えは。

市 サービスを総合的に捉え、改善・充実に向けて研究・検討を重ねてまいりたい。

市立幼稚園の在り方及び学童保育の拡充について　浅山誠一議員

議 少子化等の影響で市立幼稚園の園児数はこの 10 年で３分の１まで減少しているが、今後の運営方針は。

市 市立幼稚園のよさを守りつつ多様なニーズに応えていくために、あらゆる選択肢を視野に入れる中で、市立幼稚園の在り方について早急に検討する。

議 定数に達していない学童保育所については、要望の多い小学４年生まで対象年齢を広げるべきではないか。

市 本庁管内の学童保育所では長期休業期間中の申込みでほぼ定員が埋まるため現状では困難だが、今後、総合的に勘案しながら対象年齢の拡充について検討したい。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

公園の整備について　松上京子議員

議 **身近に公園**が少ないとの声を聞く。公園の適正配置について市の考えは。また、都市公園としての**新庄総合公園**は経年劣化で傷みが目立つ。遊歩道やトイレの整備改修、駐車場からの動線の見直しなどを行って欲しい。

市 市全域の公園は121か所で法令基準は満たしているが、新たな宅地化により利用需要に合わない地域もある。今後、実情を鑑み、調査・研究を進めたい。**新庄総合公園**について、軽微な修繕は可能な限り進めていく。トイレの増設や遊歩道の凸凹など大規模な改修は、国の補助事業を活用しながら取り組みたい。

食料自給率について　安達幸治議員

議 現在、日本の食料自給率はカロリーベースで37%と主要先進国の中で最も低い現状にある。この危機を乗り越えるためにも、国が手を打たないのであれば、本市が先立って自給率向上に取り組むべきではないか。

市 自給率の低下は、食生活の変化と農業生産力の低下等が要因であり、輸入食料が大幅に減少した場合を考えれば大きな問題であることは認識している。今後の国の食料・農業政策を注視するとともに、担い手の確保や生産基盤となる農地の維持保全に努め、自給率向上につながるように取り組む。

◆令和4年度田辺市議会議員研修会を開催しました

田辺市議会では、議員の能力向上と効率的な議会運営・議会の活性化を図るため、5月13日に議員研修会を開催しました。

今回は、議会におけるICT技術の調査・研究に向け、タブレット端末を使用したデモ研修会をオンライン開催しました。

【令和4年5月13日】

市発注工事における資源の有効活用について　谷貞見議員

議 本市で発注する工事で発生する伐採樹木の処分について、紀州備長炭やシイタケなどのキノコ栽培の原木、木質バイオマスボイラーの燃料源やキャンプ場でのまきとして活用できないか。

市 市発注工事における資源の有効活用については、法律などに基づき、伐採した樹木を廃棄物として処理するのでなく、再資源化施設への搬入を推進している。搬入した樹木は各種燃料や紙の元となるパルプとしてなど、それぞれに適した用途への活用を行っており、今後も、引き続き循環型社会の形成に向け、建設副産物の有効活用に努めていく。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

6月定例会に提出された請願

次の請願が提出され、所管の総務企画委員会で審査を行い、本会議で採決した結果、賛成少数により不採択としました。（賛否については4ページに記載）

◆請願名
公共交通機関等の充実を求める請願

◆請願者
真砂　みよ子　氏
津村　恵子　氏

◆紹介議員
前田　かよ

◆請願書要旨
誰もが安心して日々の生活ができ、住み慣れた街で自分らしく生活できるよう、乗り合いタクシーなども含め公共交通機関の充実、必要なサポート手段を講じてください。

総務企画委員会委員長報告抜粋

請願者からの意見陳述を受け、請願に至った経過や趣旨を聴取するとともに、当局に対し、公共交通施策に関する取組状況などについて説明を求め、審査をいたしました。

まず、田辺市地域公共交通網形成計画に基づく取組状況について、当局に説明を求めたのに対し、「路線バス利用者の減少やそれに伴う補助金の増加をはじめ、地域公共交通を取り巻く現状を踏まえた課題解決のため、地域住民、交通事業者、行政がそれぞれ役割を明確にして各事業に取り組み、評価検証を行いながら実施している」との説明がありました。これに対して委員から、計画に記載されている課題は、行政や事業者側の課題であり、困っている人の課題が取り上げられていない。発想を転換し、困っている人の立場からいかに課題解決するかを考えるべきであるとの意見があり、当局からは、「計画策定時には、住民アンケートや地域別懇談会を行い、ニーズを把握するとともに対応方針を議論している。これらのニーズに応えるためのサービス提供者は交通事業者である中で、様々な交通手段を用いて実施可能な方法について取りまとめている」との答弁がありました。

さらに、委員から、住民意見を踏まえた具体的な課題解消策について説明を求めたのに対し、「計画の策定以降、住民バスの運行路線や回数見直し、交通事業者からの発案による100円バスの実施など、住民の皆様からの声をいただく中で課題解決に向けた取組を実施しており、現在も路線バスの運行ルートの見直しについて事業者との協議を進めているほか、自家用有償運送の実施に向けた合意形成の方法を模索するなど、取組を続けている」との答弁がありました。

このほか、委員から、公共交通機関の充実や必要なサポート手段を講じてほしいという本請願の趣旨は、田辺市に住んでよかったと思えるまちづくりを望む請願者の素朴な願いであり、議会として市に対し進言していくべきだという意見がありました。

その一方で、委員から、公共交通機関の重要性や請願者の思いは十分理解するところであり、引き続き利便性向上に向けた努力を求めるところであるが、公共交通の運用は市が単独で行えるものではなく、交通事業者の参画が不可欠であることから、新しい交通システムが交通事業者や交通網の体系維持にどのような影響を及ぼすのか、その動向が確約できない中で、本請願を採択することはなじまないとの意見もありました。

当委員会として、請願者の願意を真摯に受け止め議論を交わし、採決を行った結果、本請願については、賛成少数により不採択とすることに決しました。

議会用語解説

請願（せいがん）

請願とは、国や地方公共団体等に対し、文書により希望や要望を申し出るもので、憲法に定められた国民の権利の一つです。

地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、一人以上の議員の紹介が必要です。

議会活動日誌

4月	【14日】広報委員会
5月	【13日】議員研修会 【26日】新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
6月	【 3日】議会運営委員会 【 8日】臨時会、議会運営委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会 【 9日】議会運営委員会 【15日】定例会（1日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会 【16日】定例会（2日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会 【24日】定例会（3日目）、議会運営委員会 【27日】定例会（4日目）、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会 【28日】文教厚生委員会、産業建設委員会 【29日】総務企画委員会
7月	【 6日】定例会（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会 【14日】広報委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 田辺市議会事務局
〒646-8545 田辺市新屋敷町1
TEL 0739-26-9940（直通）
FAX 0739-25-5579
E-mail:gikai@city.tanabe.lg.jp
田辺市議会ホームページ
http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/

◀ こちらからもホームページにアクセスできます

次回の「市議会だより」
11月号
（第5回（9月）定例会の報告）

令和4年第5回（9月）定例会の会期日程（予定）

第5回（9月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。
日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
9	6	本会議1日目（議案の提案説明）
	15	本会議2日目（一般質問）
	16	本会議3日目（一般質問）
	20	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	21・22	常任委員会（付託議案に係る審査）
	29	本会議5日目（委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、9月6日及び29日が午後1時、それ以外は午前10時です。

広報委員会
委員長 松上京子
副委員長 前田かよ
委員 加藤喜則
〃 谷貞見理孝
〃 柳瀬智史
〃 橘安達克典

編集後記

甚暑の候、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。外出時にマスクを着用するのが日常となってから随分と長い時が経過してまいりました。この季節になると外出する都度、感染症対策としてマスクを着用するのか、熱中症対策としてマスクを外すのかいつも悩まされます。かくいう私は、農作業等体を動かす折はマスクを外し、会議等人が集まる折はマスクを着用、複数人で集まって運動する折はメンバーに応じてマスクの可否を判断、といった風に状況によって使い分けるようにしております。感染症対策のために熱中症で倒れては元も子もありません。各人で適切な判断をし、御自愛くださいますようお祈り申し上げます。（柳瀬）